

# 日本共産党 第3次ボランティア報告・石巻

8月25日から28日

日本共産党港地区委員会は、8月25日～28日まで、石巻市の「日本共産党 震災・救援センター」を拠点にして、7名が第3次ボランティア活動を行いました。



10万円の募金を三浦本部長に手渡し

0万円を直接現地に手渡ししました（上の写真）。

大量のお米や野菜をこの間購入し現地に届けました。

救援物資のお米を約2キロの袋に小分けする作業を「一気に行つてから、物資お届け」へ出発です（右下の写真）。

仮設住宅からは数多くの被災者が物資の受け取りにきます。買物にも行けないので本当にありがたい」、今度はいつまでくれるんですか」「セロ歳のオムツは無いのですか」など感謝の声とこもにもっと、数多く来て欲しいとの要望も出されます。

赤ちゃんをだっこして駆けつけたお母さんが物資を受け取りやすくするため、荒川の保育士が、預かり保育をし、お母さんもゆっくりと衣類などを探していました。



仮設住宅での「物資のお届け」



預かり保育も行いました



におのけをし

南三陸から雄勝、女川の被災実態を視察  
家が横倒しなど深刻



8月28日は、南三陸から雄勝、女川と被災地を回りました。震災から5ヶ月以上たつのに復興はまだまだこれからです。右の写真は津波で横倒しとなった住宅です。

驚きました。この地域は、海岸から30～50メートルくらいの所に30軒くらいの住宅がある集落です。津波をもろに受けました。

普段は静かできれいな海です。自然の力の恐ろしさです。何度見ても被害は深刻です。